

# 各 論

第 7 章 自立した生活のための就労支援の充実【就労】

第 8 章 多様な社会参加の促進

【社会参加、文化芸術・スポーツの振興】

第 9 章 安全・安心なまちづくりの推進【生活環境】

# 第7章 自立した生活のための就労支援の充実【就労】

## 1. 雇用の場の確保と拡大

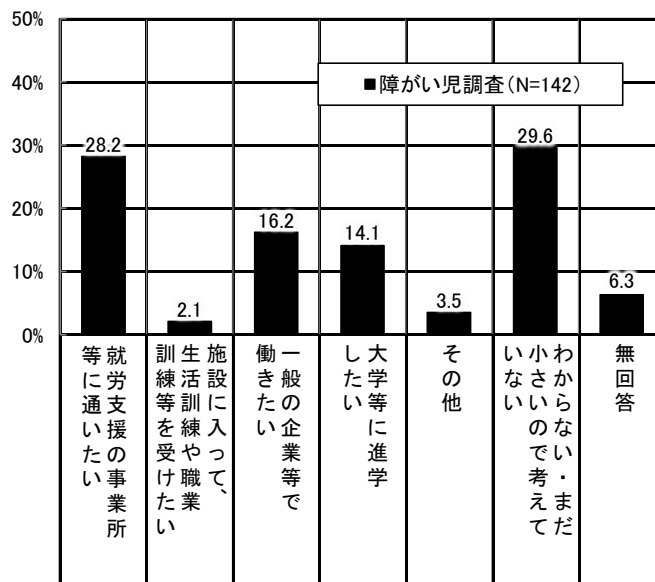
### 現状と課題

障がい者が自立した生活を送るためには、就労し収入を得ることは極めて重要な要素となります。

国ではこの視点に基づき、法律による障がい者雇用の促進を進めてきましたが、令和4年障害者雇用促進法の改正では、事業主の責務として障がい者の職業能力の開発及び向上が含まれることの明確化、週所定労働時間10時間以上20時間未満で働く重度の障がい者や精神障がい者の実雇用率への算定による障がい者の多様な就労ニーズを踏まえた働き方の推進、企業が実施する職場環境の整備や能力開発のための措置等への助成による障がい者雇用の質の向上などが盛り込まれています。

本市においても、今後も引き続き企業・事業主に対して障がい者雇用に関する啓発や情報提供、指導を行うことにより、障がいを持つ方も就労できる職場環境づくりを進めていきます。また、就労に関する相談や障がいを持つ方に対する情報提供を進め、一般就労に向けた支援を行います。

【学校卒業後の進路希望】



### ○当事者の声

- ・就労を希望する人に対して、いろいろな制度が整ってきた。障がい者を受け入れる企業が今後も増えてほしい。
- ・就労については、障がい者向けの求人がない。鍼灸の資格を持っていても仕事がない。別途パソコンなどの資格を求められるものが多い。
- ・法定雇用率の対象とならない小規模事業所等でも、同様の雇用を確保してほしい。

### 施策の基本的方向性

- 公共職業安定所等の関係機関と連携して、民間の事業所・企業等に対し法定雇用率の遵守等の障がい者雇用への理解促進を図るとともに、改正障害者雇用促進法等の関連法制度についての周知に努めます。
- 公共職業安定所等の関係機関と連携して、トライアル雇用\*やジョブコーチ支援制度\*などの障がい者と雇い主の双方を支援する制度や、障がい者雇用に関わる各種助成制度等の周知に努め、各種制度の活用を促進します。
- 福岡労働局、公共職業安定所が実施している障害者雇用促進面談会や障害者雇用促進展など、障がい者の合同面接会や啓発事業等への参加を促進し、雇用機会の充実に努めます。
- 障がい者の市職員採用に積極的に取り組み、法定雇用率の遵守・向上に努めるとともに、インターンシップ制度\*の構築や、障がい者が就労するにあたっての業務の整備やサポートのあり方等を研究しながら、臨時的任用等の検討を行い、障がい者の働く場の確保に努めます。

## 具体的取り組み

### (1) 雇用機会の確保

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
公共職業安定所との連携	公共職業安定所と連携し、法定雇用率未達成企業への理解促進・指導や、障がい者の雇用に関する各種支援・助成制度の普及啓発に努めます。	継続	社会・障がい者福祉課	
市職員採用（臨時的任用等を含む）	障がい者の法定雇用率の遵守・向上に努めます。また、臨時的任用等さまざまな形態を検討しながら、身体・知的・精神の障がい種別にかかわらず、障がい者の働く場の確保に努めます。	継続	人事課	○
クリーンセンターリサイクルプラザにおける選別業務	クリーンセンターリサイクルプラザにおいて、NPO法人クリーンネット飯塚協議会が実施する障がい者の就労を支援します。（資源ごみ分別業務）	継続	環境施設課	

### 【参考】関係機関が実施している事業

事業名	事業内容	実施機関
障害者雇用促進面談会	就労を希望する障がい者等を対象にした面談会を開催し、職種の多様化や求人数の拡大に努めます。	飯塚公共職業安定所
福祉施設等就労支援セミナー	福祉施設等の職員の一般雇用に関する理解や就労支援方法等の基礎的知識の習得と、就職を希望する施設利用者の就労支援を効果的に行うためのセミナーを実施します。	飯塚公共職業安定所
障がい者の職業相談コーナーの設置	障がい者の就職に関する相談員等を配置し、職業相談体制の充実に努めます。	飯塚公共職業安定所

## 2. 就労支援体制の充実

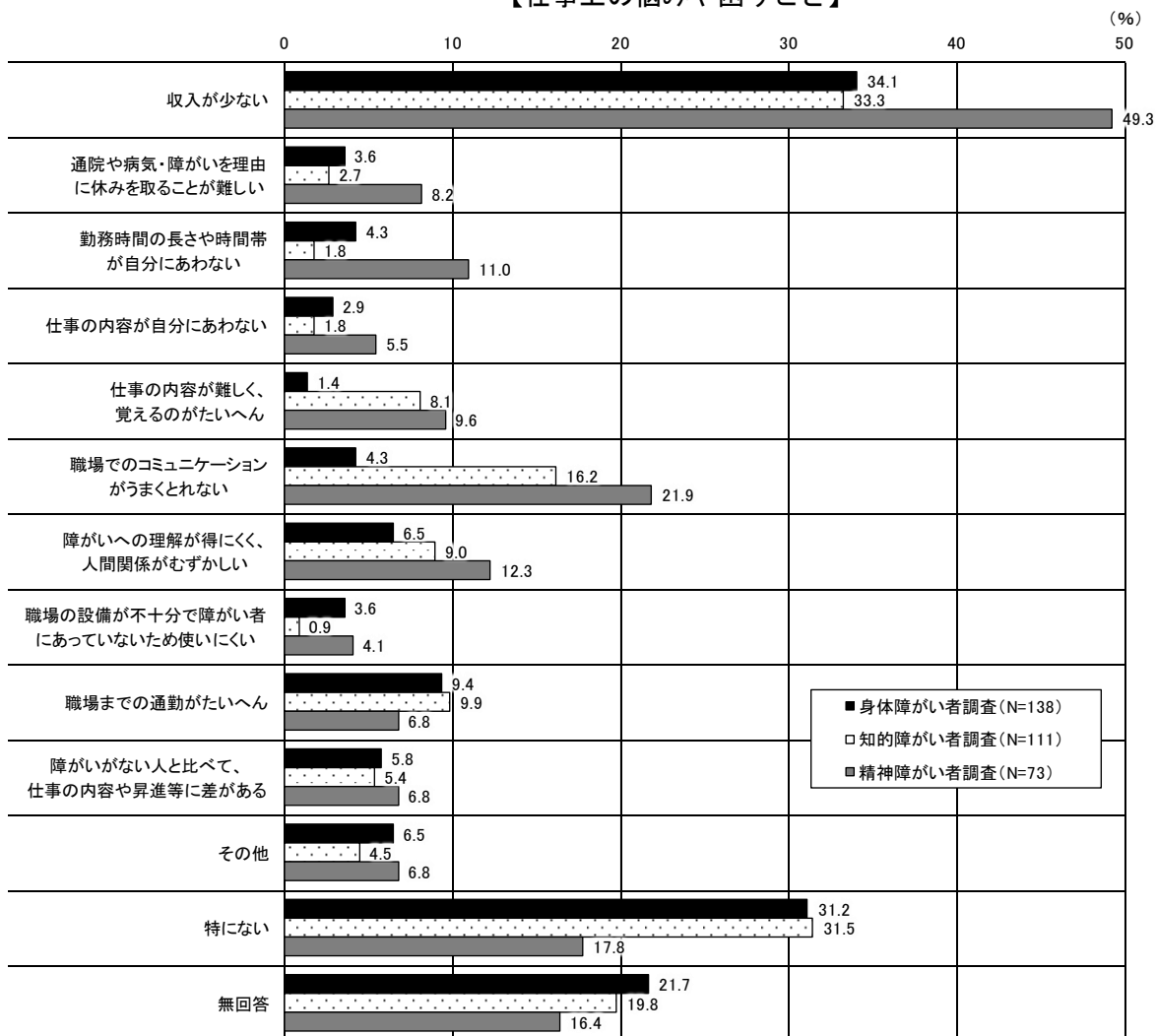
### 現状と課題

障がい者の就労にあたっては、就労先の確保とともに、障がい者が就労するために必要な技術、能力等を身につけることができるよう、さまざまな支援を行うことが必要です。

アンケート調査結果によると、仕事上の悩みや困りごととして、知的障がい者、精神障がい者では「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」、「障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい」などの回答が多くなっており、障がいの特性に応じた就労支援が求められています。

こうしたニーズに対しては、公共職業安定所や障害者就業・生活支援センター等の就労支援に関係する機関や学校、福祉施設、医療機関、事業所・企業等の障がい者の就労に関わる各分野の関係機関・団体が連携して、就労に関する情報提供や相談の受付、実習等による職業リハビリテーション、職場定着の支援に取り組むことが必要です。

【仕事上の悩みや困りごと】



### ○当事者の声

- ・事業所等に対しては、法で障がい者雇用の割合が定められているが、障がい者でもできる仕事は多いので、実態を把握し、できるだけ多くの雇用を確保してほしい。

## 施策の基本的方向性

- 障害者総合支援法における就労移行支援事業等、一般就労移行のための訓練等に係るサービスの基盤整備に努めます。
- 公共職業安定所等の関係機関と連携して、トライアル雇用やジョブコーチ支援制度などの障がい者の職場定着を支援する各種制度の周知と活用促進に努めます。
- 障害者就業・生活支援センターとの連携を図り、障がい者の就労に関する支援の充実に努めます。

### 具体的取り組み

#### (1) 就労支援の推進

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
就労移行支援事業	一般企業等への就労を希望する障がい者に対して、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練等を行います。	継続	社会・障がい者福祉課	○
就職支度金助成制度	障がい者の就労に際して就職支度金の支給による助成を行います。	継続	社会・障がい者福祉課	○
職場実習生の受け入れ	障がい者に職場体験の機会を提供するため、特別支援学校の生徒のインターンシップをはじめとした職場実習生の受け入れに取り組みます。	拡充	社会・障がい者福祉課	○
障害者就業・生活支援センターとの連携	就職活動や就労を行っている障がい者やその家族、または障がい者雇用を考えている企業等からのさまざまな相談に応じ、必要な訓練の実施や働くうえでの生活面の支援等を行います。	継続	人事課	

#### 【参考】関係機関が実施している事業

事業名	事業内容	実施機関
精神障害者職親制度による社会適応訓練	精神障害者職親制度を活用し、対人能力や仕事に対する持久力及び環境適応能力等の社会適応訓練を行い、精神障がい者の社会復帰を促進します。	福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所
就職準備講習会	障がいのある中学生を対象に、就職支援を目的とした職場実習を行います。	飯塚公共職業安定所

### 3. 福祉的就労の場の確保

#### 現状と課題

障がいの特性や年齢等の事情から、一般就労が難しい障がい者も生きがいをもって働くことができるよう、福祉的就労の場を確保することが必要です。

しかしながら、アンケート調査によると「収入が少ない」という意見が圧倒的に多く、工賃の向上に対するニーズが高まっています。

今後も「国等による障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（障害者優先調達推進法）」に基づき国及び地方公共団体等が率先して障がい者就労施設等が供給する物品および役務を調達することによって福祉的就労の底上げを図り、障がい者の経済的自立を促進するための取り組みが求められます。

また、今後は就労継続支援事業所が、障がい者の福祉的就労の場としてより適正な運営ができるよう、事業所の経営力強化や工賃向上に向けた取り組みの検討を含め、必要な助言や支援を検討していくことも必要です。

#### ○当事者の声

- ・福祉事業所の給与（工賃）を上げるための工夫も必要で、製品を商業ベースに乗せる必要がある。製品企画、製品の見せ方、包装の仕方、販売ルート、さまざまな管理者側のセンスが必要である。

#### 施策の基本的方向性

○障害者総合支援法における就労継続支援事業等の福祉的就労に係るサービスの充実に努めます。

○障害者優先調達推進法に基づき、障がい者就労支援施設等からの物品等調達を推進します。

#### 具体的取り組み

##### (1) 福祉的就労の場の確保

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
就労継続支援事業（A型・B型）	一般企業等への就労が困難な障がい者に対して、就労や生産活動の場を提供するとともに、就労に関する知識及び能力向上のために必要な訓練等を行います。	継続	社会・障がい者福祉課	○
障がい者就労施設等からの優先調達の推進	飯塚市障がい者就労施設等からの物品等調達推進方針に沿って、関係各課に対して優先調達に関する働きかけを行います。	継続	社会・障がい者福祉課	○

## 第8章 多様な社会参加の促進【社会参加、文化芸術・スポーツの振興】

### 1. 地域活動への参加促進

#### 現状と課題

障がいがある人もない人も、ともに地域で暮らす者としてさまざまな地域の活動や行事に参加できる環境づくりが求められます。障がい者が地域活動に参加しようとする場合、地域活動に関する情報不足やコミュニケーションの問題、外出先におけるバリアフリーの問題など、さまざまな社会的障壁があることが考えられます。

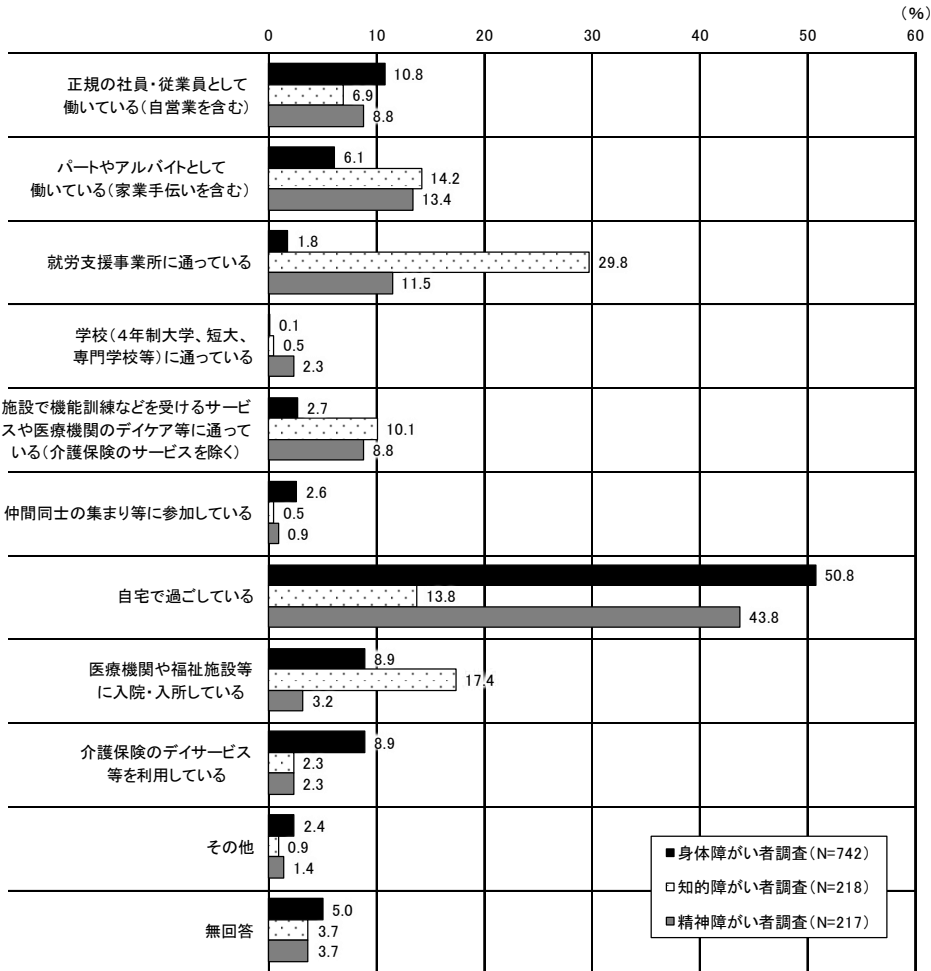
アンケート調査結果によると、日中の主な過ごし方として、身体障がい者や精神障がい者の場合、「自宅で過ごしている」を選んだ人の割合が高くなっています。また外出の頻度については、「週に2～3回くらい」以下の頻度を選んだ人の割合が高くなっており、自宅で多くの時間を過ごし、外出の頻度も低い傾向にあることがわかります。

同じくアンケート調査結果によると、地域の人との付き合いについては、「会えばあいさつしあう程度」を選んだ人が最も多く、「自治会等の地域活動と一緒に参加する」などを選んだ割合は最も割合の高い身体障がい者で1割程度となっています。

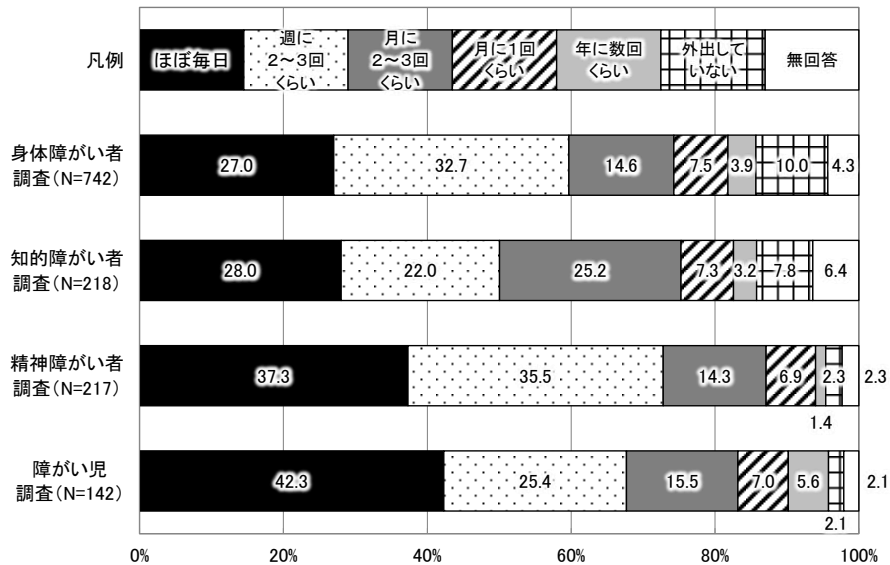
今後、障がいのある人もない人もともに地域の中でつながり支え合うためには、こうした状況を改善し、障がい者の地域参加を促進することが必要です。



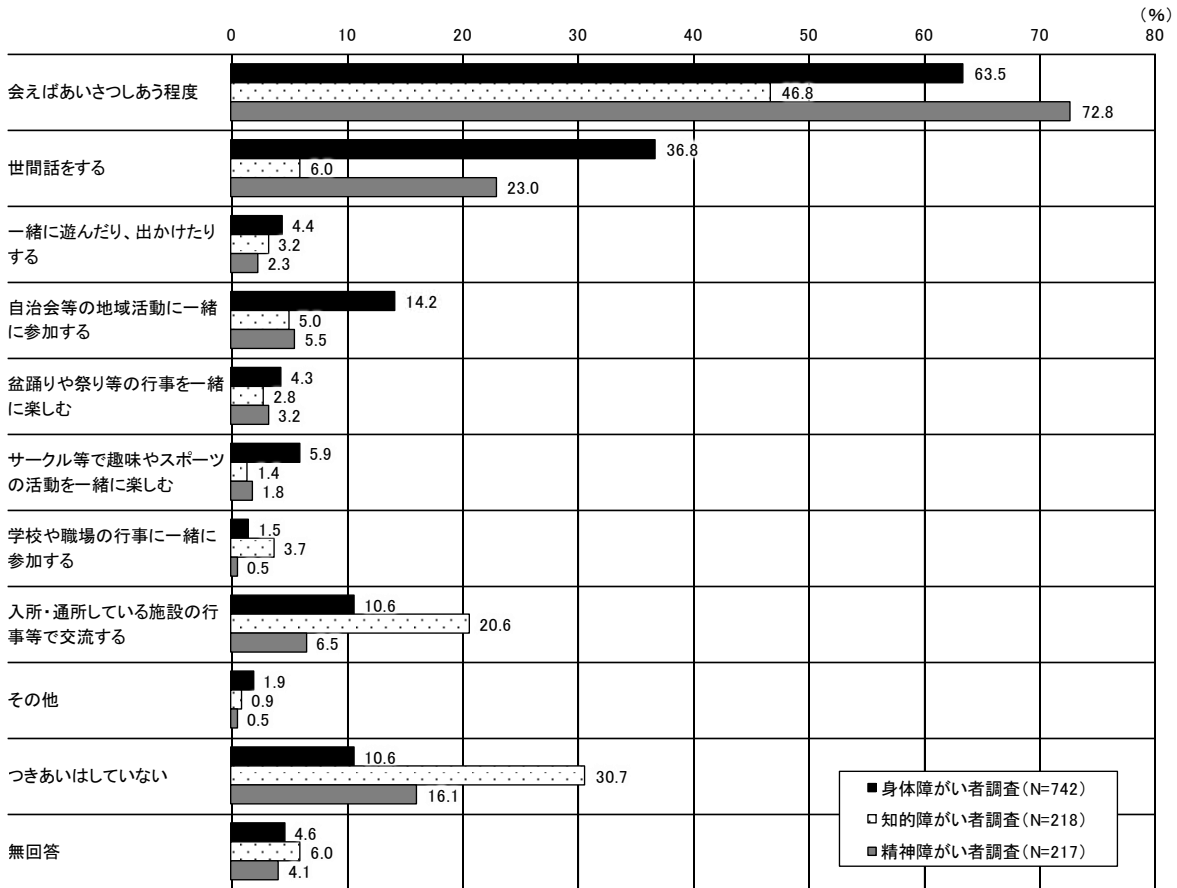
## 【日中の過ごし方】



## 【外出の頻度】



## 【地域の人とのつきあい】



### ○当事者の声

- ・地域といっても本当に入っていくのが難しいし、親も忙しい。仕事をされている人も多い。そこで行き場がなく、結局家族で解決しようとする人たちが増えてしまった。
- ・サービスがよくなってきている分、地域とのかかわりが薄れている。地域自体も今、コミュニティみたいなものがない。子ども会もない。近隣の付き合いも、今はないところが多い。

## 施策の基本的方向性

○障がい者が地域の活動・行事に参加できるよう、地域の関係団体等と連携して、障がい者に対する情報提供や理解の促進など社会的障壁を除去するための取り組みを推進します。

○バリアフリーマップの活用を通じて、市内のバリアフリー施設等に関する情報提供に努めるとともに、障がい者の社会参加に関する市民意識の向上を図ります

### 具体的取り組み

#### (1) 地域活動への参加促進

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
交流センター活動等の充実	地域の活動拠点である交流センター活動等に障がいのある方が参加しやすいよう、情報提供や環境づくりに努めます。	継続	地域活動支援課	
自動車運転免許取得・改造助成事業	障がい者の社会参加・外出支援の一環として、自動車運転免許取得や所有する自動車の改造に関わる費用を助成します。	継続	社会・障がい者福祉課	○
福祉バス借り上げの助成	障がい者の地域活動支援として、障がい者団体が実施する行事でバスを借り上げる際の費用を助成します。	継続	社会・障がい者福祉課	○
予約乗合タクシー及びコミュニティバス等の運賃の障がい者割引	障がい者手帳所持者が予約乗合タクシー及びコミュニティバス（八木山地区スクールバスの一般混乗分を含む）を利用する際の運賃の割引を行います。	新規	公共交通対策課	
市営駐車場における駐車料金の減免	飯塚市営駐車場条例に基づき、障がい者に対する市営駐車場の駐車料金減免を行います。	継続	生涯学習課 建設総務課	
バリアフリーマップの活用	福岡県が運営する「ふくおかバリアフリーマップ」を活用し、市内のバリアフリー施設や障がい者用トイレ（車いす、オストメイト*対応）設置箇所等を把握し、障がい者等への周知を図り、活用を促進します。	拡充	社会・障がい者福祉課	○
まごころ駐車場の整備	車の乗り降りに配慮が必要な障がい者や高齢者などが、公共施設や店舗等で特定の場所に車を停めて安全かつ安心して施設を利用できるように支援する「ふくおかまごころ駐車場」について、市内の公共施設等への拡大に努めます。	拡充	社会・障がい者福祉課	○

#### 【参考】関係機関が実施している事業

事業名	事業内容	実施機関
リフト車貸出しサービス	障がい者等の社会参加支援のため、リフト付きワゴン車の貸出しサービスを実施します。	飯塚市社会福祉協議会
移送支援事業（ボランティア移送サービス）	障がい者等の社会参加支援のため、移送支援事業（ボランティア移送サービス）を実施します。	飯塚市社会福祉協議会

## 2. スポーツ・文化芸術・レクリエーション活動の促進

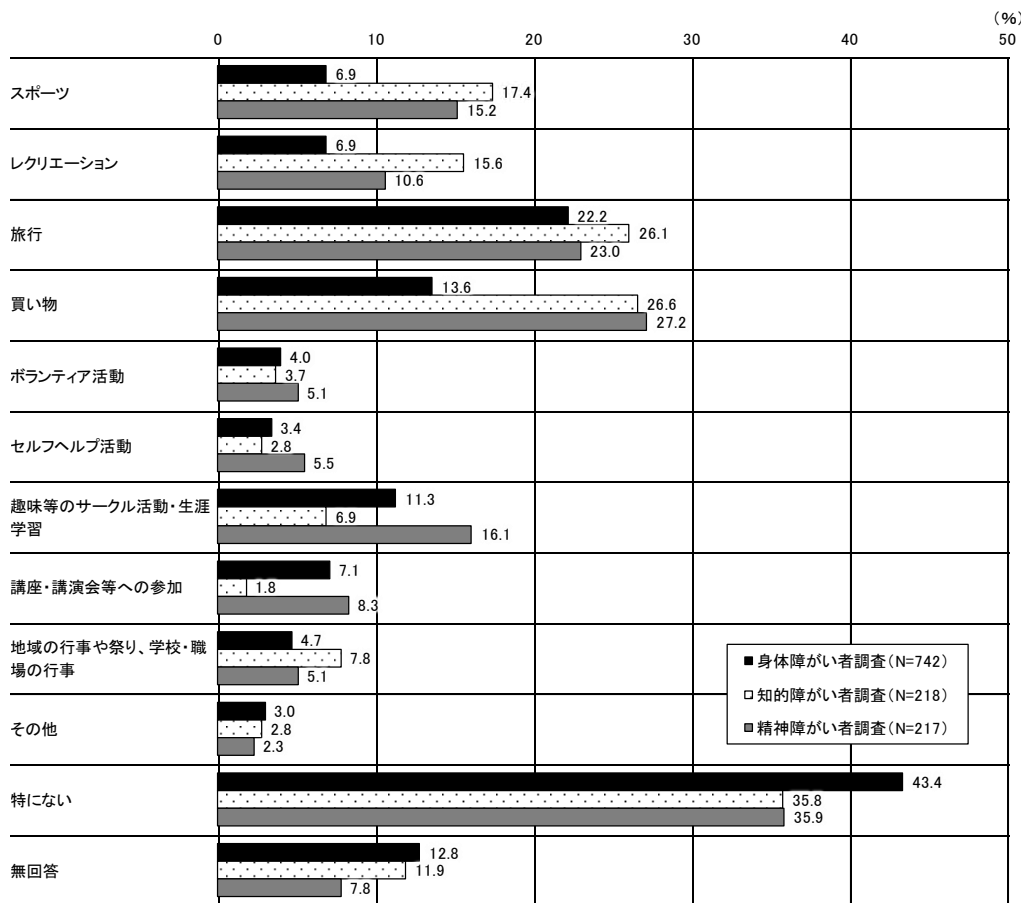
### 現状と課題

アンケート調査によると、障がい者が余暇活動としてやりたいことについては、旅行や買い物をはじめ、スポーツ、レクリエーション、生涯学習活動等さまざまであり、障がいの有無にかかわらず、自らの人生を主体的に生きることができるよう、身近な地域において楽しみや豊かさを体感できる環境づくりが求められています。

本市では障がい者スポーツとして「飯塚国際車いすテニス大会」の開催をはじめ「さわやかスポーツ大会」などさまざまな取り組みを進めており、またスポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点として「サン・アビリティーズいいづか」があります。

今後も障がい者の社会参加を支援するため、こうした障がい者福祉に関わる貴重な社会資源を活用していくことが必要です。

【参加したい余暇活動の内容】



### ○当事者の声

- ・自閉症やダウン症の子どもたちにとって、運動はすごく大事。肥満の解消もあるが、運動をすることで精神安定を図る部分がある。もう少し知的障がい者のスポーツが広がっていくことを願っている。

## 施策の基本的方向性

- 「飯塚国際車いすテニス大会」「さわやかスポーツ大会」等の各種大会の開催を支援するとともに、障がい者団体等と連携して周知と参加促進に努めます。
- 障がい者作品展などに関する広報活動の充実を図り、出展、参加機会の提供に努めます。
- 障がい者の学習活動、サークル活動への参加促進を図るため、公共施設使用料減免制度などの情報提供やその他の活動支援に努めます。
- サン・アビリティーズいっぴかの管理運営について、指定管理者と連携し、障がい者がより利用しやすい環境づくりに努めます。

## 具体的取り組み

### (1) スポーツ・文化・レクリエーション活動の促進

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
飯塚国際車いすテニス大会への支援	国際テニス連盟公認の飯塚国際車いすテニス大会への支援を通じて障がい者スポーツの振興を図るとともに、障がいのある人とない人との交流促進や、市民のノーマライゼーションに関する意識の向上を図ります。	拡充	社会・障がい者福祉課	○
さわやかスポーツ大会	市内に居住する障がい者のスポーツを通じた健康づくりを図るとともに、大会に参加するボランティア等との交流を促進します。	継続	社会・障がい者福祉課	○
ふれあいSTT（盲人卓球）大会	STT（サウンドテーブルテニス）を通じて障がい者間の親睦を図るとともに、ボランティアなどの参加を促進し、障がい者との交流を促進します。	継続	社会・障がい者福祉課	
障がい者アーチェリー大会	障がい者アーチェリー大会を開催し、障がい者の社会参加促進と、障がいのない人とのスポーツを通じた交流や情報交換の機会を提供します。	継続	社会・障がい者福祉課	
日常生活訓練事業	サン・アビリティーズいっぴかで障がい者を対象に実施している華道、茶道、料理、絵画、書道等の各種教室について、事業メニューの充実と参加促進に努めます	継続	社会・障がい者福祉課	
障がい者週間にあわせた作品展の開催	障がい者週間にあわせて、サン・アビリティーズいっぴかや市役所において絵画や工作物などの障がい者の作品を展示し、活動の成果発表の場を提供します。	継続	社会・障がい者福祉課	○

(2)「サン・アビリティーズいいづか」の活用

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
障がい者の活動の場の提供	指定管理者による適切な施設管理・運営により、障がい者の活動拠点施設としての充実を図ります。	継続	社会・障がい者福祉課	○
障がい児・者相談会	NPO法人いいづか障害児者団体協議会等の主催により、サン・アビリティーズいいづかにおいて障がい当事者や家族などが相談に応じるピアカウンセリング等の相談会の実施を支援します。 (毎月第1土曜日：精神障がい者対象、第2土曜日：聴覚障がい者・精神障がい者家族対象、第3土曜日：全般的な相談、第4土曜日：身体障がい者対象)	継続	社会・障がい者福祉課	
屋内プールの活用	障がい者のプール利用促進を図るための管理・運営を図るとともに、障がいのある人とない人との交流の場としての活用を図ります。	継続	社会・障がい者福祉課	
リフト付き車両の利用促進	サン・アビリティーズいいづかで所有するリフト付き車両を、障がい者団体や施設利用者の送迎等に活用します。	継続	社会・障がい者福祉課	

### 3. 当事者・団体の自発的活動に対する支援

#### 現状と課題

本市には、さまざまな障がい当事者の組織や団体が存在し、それぞれ独自の活動を展開しています。しかしながら、近年では多くの団体で新規加入者の減少や参加者の高齢化などが進み、活動が縮小傾向にあります。また、ヒアリング調査では、インターネットの普及により手軽に情報収集ができるようになった一方で、対面での交流や情報交換の場が少なくなっているとの意見もありました。

当事者の自発的な活動は、当事者同士の悩みや心配ごとを分かち合い支え合うだけでなく、地域社会に対して障がい者理解をさせ、障がい者の社会参加のきっかけづくりにもなっています。

こうした当事者の自発的な活動に対する支援・協力を行うことで、障がいを持つ当事者間の支え合い、孤立化の防止、地域社会への参加を進めていく必要があります。

#### ○当事者の声

- ・会を始めた親たちも高齢化して、親自身が高齢者の施設に入ったり亡くなったりしているという問題を抱えている。(障がいを持つ) 子ども自身も高齢化している。
- ・どこに相談に行ったらいいかという話はよく聞く。SNSなどを利用している方も多いようだが、結局それでは解決しない。対面で、自分や子どもについての話を聞いてくれる人がそばにいてほしいとのこと。

## 施策の基本的方向性

○サン・アビリティーズいづかにおける障がい児・者の利用を推進します。

○団体等が実施する各種活動に対して支援を行うとともに、障がい者手帳取得者等に障がい者団体等の存在を広く周知します。

### 具体的取り組み

#### (1) 当事者による交流活動等の促進

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
ふれあいサマー スクーリング	夏休み期間中に、市内に居住する小学生から高校生までの障がい児を対象としたスクーリングを実施し、障がい児の社会参加促進を図ります。あわせて、スクーリングに参加する学生ボランティアが障がい児とともにさまざまなカリキュラムに取り組むことを通じて、ボランティアとしての人材育成を図ります。	継続	社会・障がい者福祉課	○
あすなろキャンプ	市内に居住する障がい児・者とその保護者等を対象に実施し、社会参加促進を図ります。障がい児・者が集団生活の中でさまざまなことを体験する場として、また同じ悩みなどを抱える保護者間の交流の場となるように、内容の充実に努めます。	継続	社会・障がい者福祉課	○

#### (2) 障がい者団体への支援

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
障がい者団体の支援	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の当事者や家族が組織する団体を支援し、障がい者の自立更生、社会参加の促進を図ります。	継続	社会・障がい者福祉課	○
福祉バス借上げの助成	障がい者の地域活動支援として、障がい者団体を実施する行事でバスを借上げる際の費用を助成します。	継続	社会・障がい者福祉課	○
障がい者団体等紹介パンフレットの作成	障がい当事者やその家族等で構成される団体等を紹介するパンフレットを作成し、団体等の周知に努めます。	継続	社会・障がい者福祉課	

#### 【参考】関係機関が実施している事業

事業名	事業内容	実施機関
春の障がい児・者バスハイク	障がい児・者とその家族間の交流、ボランティアとの交流を促進するため、日帰りのバスハイクを実施します。	飯塚市社会福祉協議会



## 第9章 安全・安心なまちづくりの推進【生活環境】

### 1. 防災・防犯体制の整備

#### 現状と課題

近年、全国的に大規模な自然災害が発生しており、障がいを持つ方々が、地域の中で安全・安心に暮らしていくためには、様々な防災対策とあわせ、災害時の避難体制の構築が重要です。

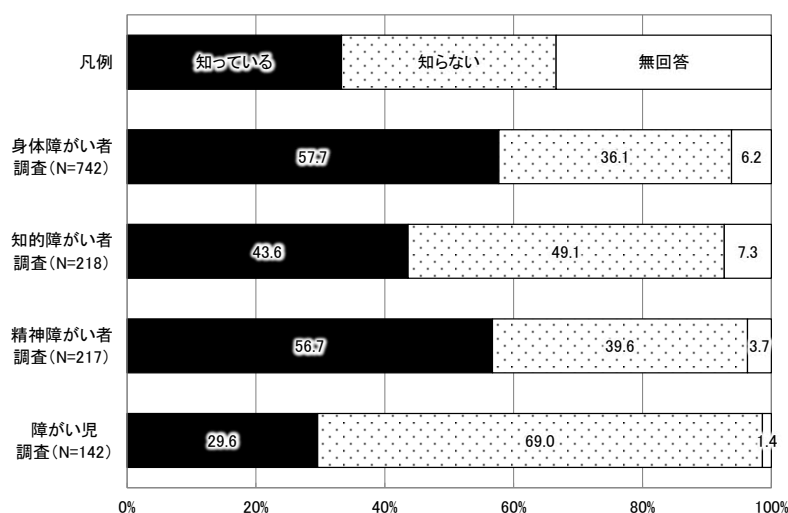
アンケート調査結果によると、自宅近くの災害時の避難場所を「知っている」と回答した人は、身体障がい者、精神障がい者では「知っている」が過半数を占めていますが、知的障がい者、障がい児では「知らない」の割合が高くなっています。その一方で、災害時の対策を「立てている」の割合は低く、防災に対する具体的な取り組みに向けた啓発が必要です。

また、同じくアンケート調査結果からは、災害が起きた場合に必要となる支援として「薬や日常生活用具等の備蓄」「医療的ケアの確保」「避難場所における多目的トイレなどの障がいに配慮した設備の確保」など、障がい特性ごとにさまざまな支援が求められています。

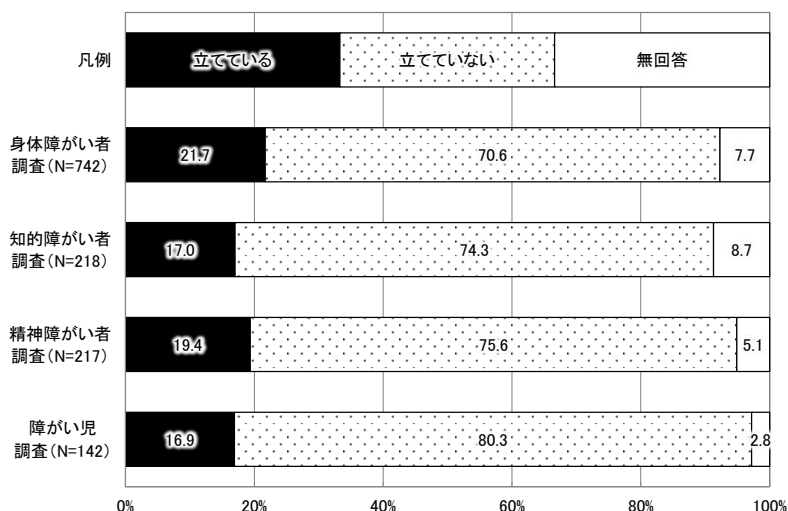
防犯については、高齢者や障がい者を狙った犯罪も発生しており、地域の見守りや情報提供が必要となります。

このほか、本人の意思に沿わない消費者トラブルなども発生していることから、被害の防止に向けた情報提供や相談対応も必要となります。

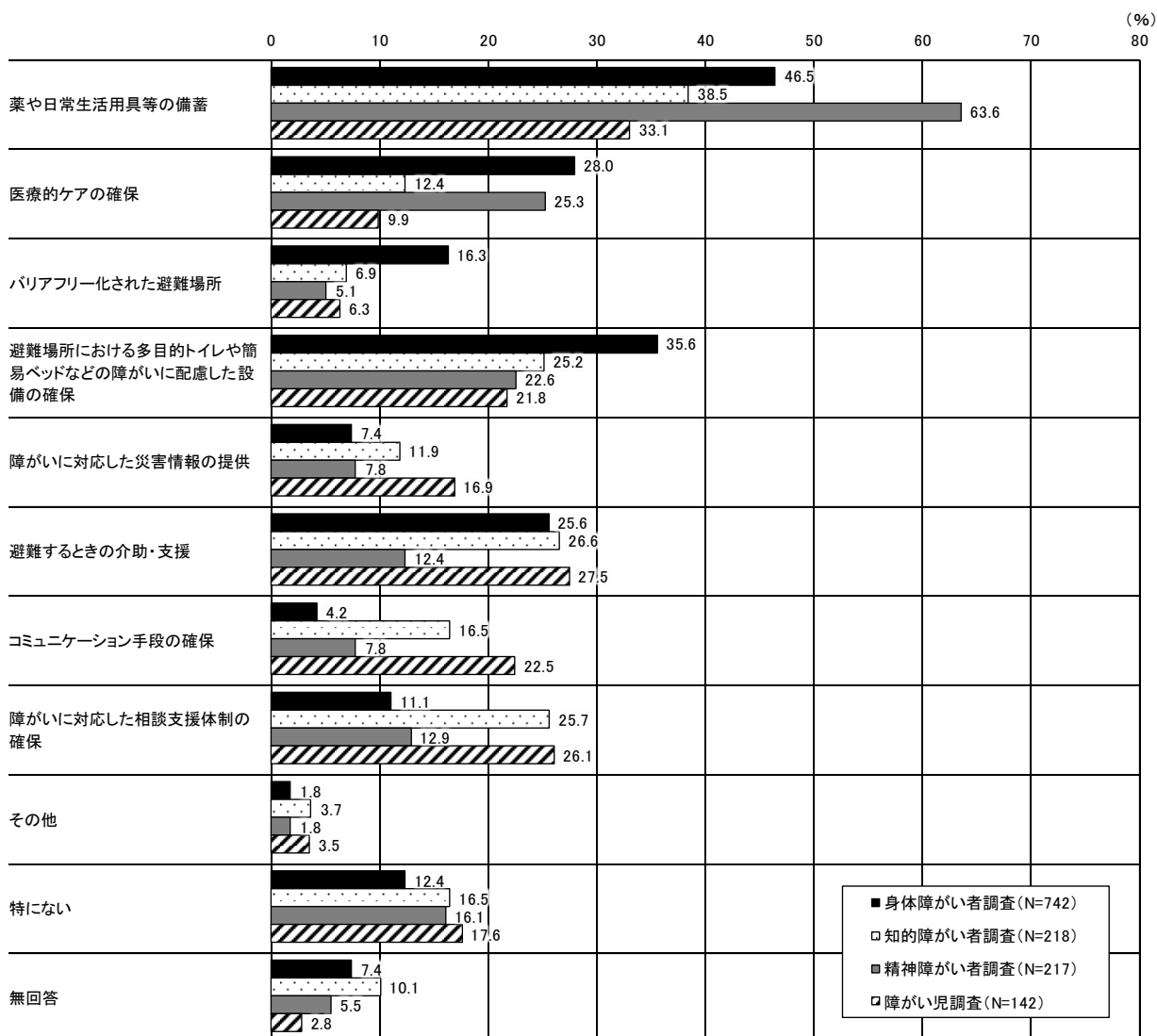
【自宅近くの災害時の避難先の認知状況】



### 【災害時の対策】



### 【災害が起きた場合に必要となる支援】



## 施策の基本的方向性



- 広報紙・パンフレット等により、防災知識の普及啓発と避難場所等の必要な情報を提供するとともに、避難場所掲示案内板等の設置を図ります。
- 飯塚市地域防災計画等に基づき、地域と連携した自主防災組織の設立や防犯ボランティアの育成を図ります。
- 福祉避難所の設置や必要な用具の備蓄など、障がいの特性に応じた災害時支援体制の確立に努めます。
- 消費者としての障がい者の利益を守るため、消費者トラブルに関する相談窓口やトラブルからの救済等に関する知識の普及を図るとともに、障がい者団体等と連携してトラブルの防止と早期発見に努めます。

## 具体的取り組み

### (1) 防災・防犯対策の推進

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
災害時要援護者に対する支援の充実	地域防災計画及び避難支援プラン*全体計画に基づき、避難支援プラン個別計画の策定や、災害弱者に対する避難所生活の支援拡充を推進します。また、避難等の際に支援が必要な障がい者等を把握するための台帳を整備し、迅速かつ的確な情報提供に努めます。	継続	防災安全課 介護保険課 高齢者支援課 社会・障がい者福祉課	○
広報・ホームページによる防災情報の提供	広報いいつかやホームページ等で、避難場所等も含めたさまざまな防災情報の提供に努めます。	継続	防災安全課	○
携帯電話のメール機能などを使った災害情報の発信	情報提供を希望する障がい者等の携帯・固定電話番号、メールアドレス、FAX番号等を登録し、災害や避難に関する情報を発信します。また、メールアドレスの登録が不要なエリアメールを利用して、避難勧告等の緊急情報を携帯電話へ発信します。	継続	防災安全課	○
避難場所の確保・周知	地域における避難場所の確保と市民への周知を図るとともに、避難施設での障がい者用設備の整備に努めます。	継続	防災安全課 各施設所管課	
福祉避難所の設置	災害時に援護が必要な高齢者や障がい者等が一般の避難所に避難した後に、障がい等の状態に応じた対応が必要となった場合、二次避難所としての福祉避難所を設置します。	継続	防災安全課 介護保険課 社会・障がい者福祉課	
災害時に備えたストーマ*装具の保管	災害時の避難生活に備えるためストーマ装具の備蓄を希望する人の装具を預かり、市役所本庁及び各支所に保管します。	継続	社会・障がい者福祉課	○
地域における自主防災活動への支援	地域の関係団体等と連携して自主防災組織の設立を促進するとともに、地域単位でのハザードマップ*の作成を支援します。	継続	防災安全課	
防犯ボランティアの育成	地域の関係団体等と連携して、防犯ボランティアの育成に努めます。	継続	防災安全課	

(2) 消費者トラブルの防止

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
消費者トラブルに関する情報提供	障がい者の消費者トラブルの相談窓口や被害からの救済等に関する情報提供を行い、知識の普及を図ります。	新規	社会・障がい者福祉課	○
障がい者団体等との連携	障がい者団体や地域住民等と連携し、障がい者をねらった消費者トラブルの防止と早期発見を図ります。	新規	社会・障がい者福祉課	

【参考】関係機関が実施している事業

事業名	事業内容	実施機関
災害救援ボランティア活動	市との「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、災害救援ボランティアセンターを設置・運営します。	飯塚市社会福祉協議会

## 2. ユニバーサルデザインの推進

### 現状と課題

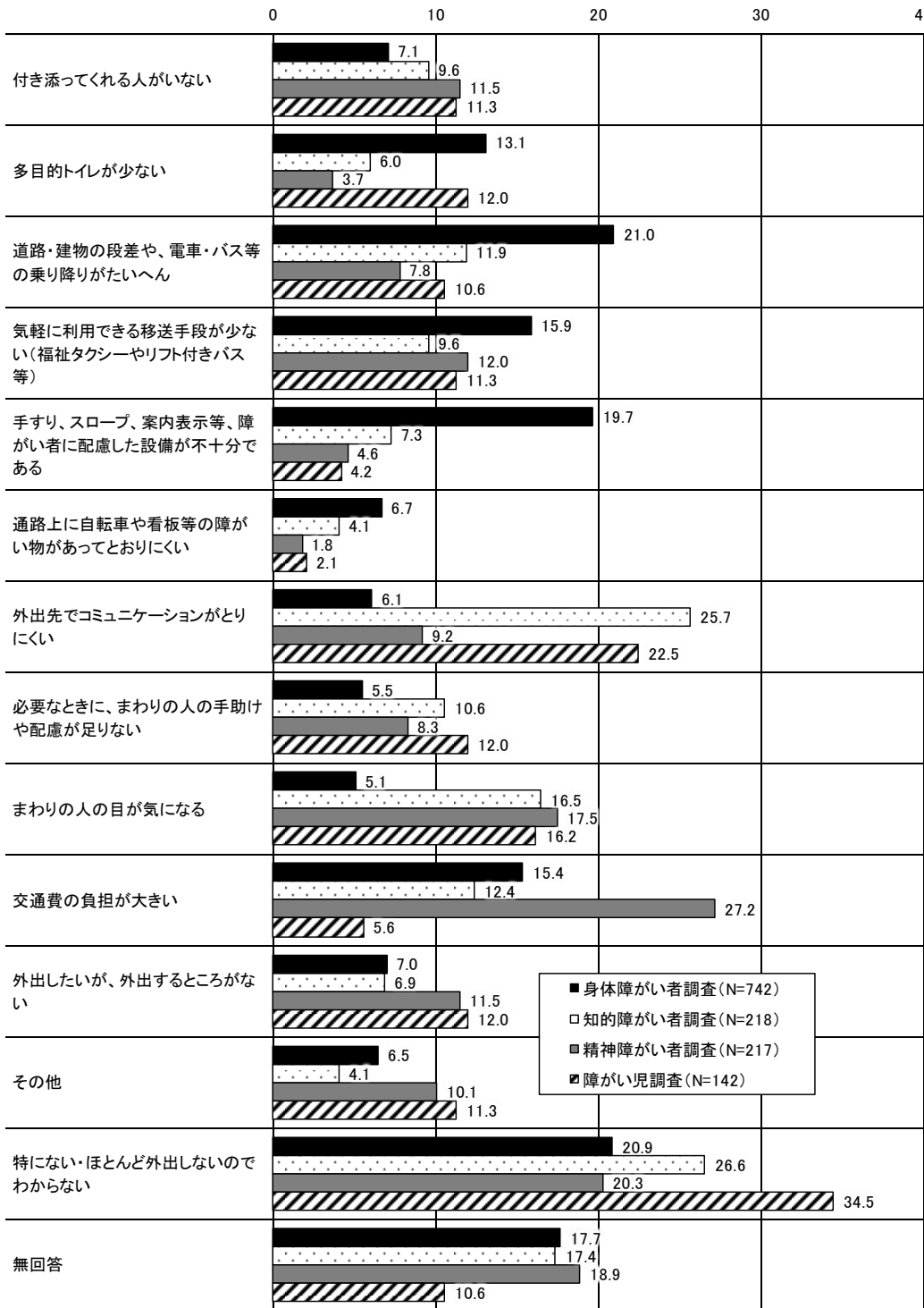
障がい者が地域の中で安全に快適に暮らすことができ、主体的にさまざまな活動に参加するためには、誰もが利用しやすい道路や生活空間の整備が必要になります。

アンケート調査によると、身体障がい者については、外出先で不便や困難を感じることで「道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん」「手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である」などの割合が高くなっています。

こうした状況から、障がいの有無や年齢といった状況に関わらず、高齢者、妊婦、子ども連れなどさまざまな人たちが、社会生活をしていく上で、物理的、社会的、心理的なすべての障壁（バリア）を取り除くとともに、誰にとっても利用しやすくデザインするという「ユニバーサルデザイン」の考え方のもと、市役所等の公共施設や学校、社会教育施設などの市民生活に密着した施設の整備・改善が求められます。

【外出先で不便や困難を感じること】

(%)



## 施策の基本的方向性

- 市民生活に密着した公共施設や市庁舎等の建設・改修等に当たっては、障がい者や高齢者等の関係団体の意見を反映させながら、障がい児・者の利用に配慮したバリアフリーやユニバーサルデザインの視点に基づく施設・設備の整備を図ります。
- 障がい者や高齢者に配慮した公園、スポーツ・レクリエーション施設等の整備・改善に努めます。
- 道路環境の整備等にあたり、安全で快適な歩行空間の確保に努めます。
- 拠点連携型の都市づくりに当たっては、障がい者や高齢者に配慮した生活空間の創出に努めます。
- 民間施設に対して、バリアフリー法や「福岡県福祉のまちづくり条例」等に関する啓発に努めます。

## 具体的取り組み

### (1) 道路・生活空間の整備

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
道路改良事業	幅広い歩道の整備、段差の解消、視覚障がい者誘導ブロック等の設置促進を図ります。	継続	土木建設課	○
交通安全施設の整備 (交通安全対策事業)	障がい者等の交通弱者はもとより、すべての市民が安全・安心して通行することができるよう、道路反射鏡や防護柵の設置、歩道切り下げ等を行います。	継続	土木管理課	
中心市街地活性化 基本計画に基づく 生活空間整備	中心市街地活性化事業実施の際には、障がい者の社会参加を促進する生活空間整備に努めます。	継続	中心市街地 活性化推進 課	
公園施設・設備等の 整備・管理	障がい者の利用に配慮した公園施設・設備の整備や維持管理に努めます。	継続	健康・スポ ーツ課 都市計画課	○



(2) 公共施設等の整備

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
公共的施設等整備事業	市庁舎等の施設のバリアフリー化等はもとより、施設までの道路改良や交通網確保等も考慮した総合的な視点による整備・改良に努めます。	継続	総務課 庁舎建設対策課 各施設所管課	○
学校施設の整備	小・中学校のバリアフリー化のため、各校からの施設・設備改善等の要請に適切に対応していきます。	継続	教育総務課	○
社会教育施設等の整備	公民館や体育施設等で障がい者にとって利用しづらい施設について、エレベーターやスロープ設置等のバリアフリー化に努めます。	継続	中央公民館 健康・スポーツ課	○
民間施設に対する啓発	不特定多数の人が利用する民間施設等に対して、県土整備事務所建築指導課と連携を図り、建築物に関する法令等の啓発に努めます。	継続	建築課	

### 3. 移動しやすい環境の整備

#### 現状と課題

障がい者が外出時にバスや電車等の公共交通機関を利用する際には、施設や車両等において、視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由などさまざまな障がい特性に対応したバリアフリー化が求められます。

アンケート調査結果では、外出先で不便や困難を感じることで、身体障がい者で「道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん」の割合が高く、移動の際に困難を感じる人が多くいる状況が見受けられます。

今後は、障がいの有無に関わらず、誰もが様々な公共交通機関等を利用して移動、外出ができるような関連施設整備や運行車両等の改善が望まれます。

#### 施策の基本的方向性

- 障がい者の利用に配慮した交通機関の施設整備等について、事業者に要請していきます。
- 市営のコミュニティバス等におけるバリアフリー化を関係各課・機関等へ要請し、あらゆる市民の利用に対応できるよう、利便性向上を図ります。

#### 具体的取り組み

##### (1) 障がい者が利用しやすい交通環境の整備

主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
交通機関における各種バリアフリー推進の要請	施設や車両のバリアフリー化に加え、視覚障がい者や聴覚障がい者に配慮した音声誘導や案内板表示による情報提供などを交通事業者へ要請していきます。	継続	社会・障がい者福祉課	
市営の交通機関におけるバリアフリー推進の要請	コミュニティバスや予約乗合タクシーの運行事業における車両等のバリアフリー化について、関係各課・機関等へ要請していきます。	継続	社会・障がい者福祉課	